Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J・E・T・S・NEWS Vol.47

発行所／460-0022　愛知県名古屋市中区金山2丁目1-3　東海聖書神学塾内
学会サイト・アクセス　http://evangelical-theology.jp

教会に仕える神学

福音主義神学会誌・編集委員長　南野浩則

「時は満ち、神の国は近づいた。
　悔い改めて、福音を信じなさい。」
マルコ福音書1章15節

この聖書の言葉は、イエスによる宣教の内容をマルコ福音書がまとめて著したものです。マルコ福音書にとれば、福音の真髄を表現しているのでしょう。イエスがガリラヤ地方に住む人々に語ったという舞台設定ではありますが、もちろん、読者である教会をマルコ福音書は意識しています。イエスが宣言した神の国（支配）は、キリスト教会は継承してその実現を図らなければならない、そんな呼びかけを読み取ることができます。このように、教会には使命が与えられています。教会はナザレのイエスをメシア（キリスト）として告白した人々が集まっているだけでなく、教会内外に対して神の価値観を伝え、その成就のために派遣されています。この神の価値観の内容を解説し、教会にそれを知らせ、教会の働きの土台を形成することが求められます。そのような作業がなければ、教会は派遣の業を行うことができません。この作業を担うのが神学であることは言うまでもないでしょう。

また、教会は現実の場所に遣わされて、与えられた使命を具体的に果たします。それは、単純な作業ではありません。宣教の現場は各々に時代・場所・生活・社会体制・文化などが違い、教会は自らが派遣された状況に応じて、神の国（支配）の実現を目指さすことが必要です。神の啓示の源泉とされる聖書に対する解釈、教会が土台とする考え方、教会内外への働きかけの内容や方策、考慮すべき要素は限りなくあります。加えて、教会に集う人々の意識やこの世界の状況は絶えず変化します。使命を遂行しようとする教会の環境は複雑な要素が絡み合っています。聖書学を含めた広義の神学は、このような現実を分析し、解釈して意味付けします。そして、教会が据えるべき思想的な基盤を設定し、宣教の内容や方策を提案します。そのような作業を通じて、神学は教会に仕えていくのです。神学は、教会に基本的な価値観や考え方を提供することができます。

実際の神学的な作業は専門性が高く、さまざまな前提や知識が必要とされ、複雑な論理を展開します。それゆえに、教会の多くの人たちにとって神学は縁遠い議論になっています。だから神学作業はおかしいとか、必要がないとか言いたいわけではありません。むしろ、神学は、神について、人間について、この世界について探求を謙虚に深めていくべきですし、それは神と教会からの期待でもあります。同時に、神学は教会の人々（場合によれば、この世界の人々）に開かれるべきです。神学作業の内容や性格のゆえに自閉的・自己満足的になる誘惑がありますが、神学は教会を通じて冒頭に述べた神の国（支配）の実現に資するように努めなければなりません。神学作業を通しても、私たちは神、教会、この世界に広く仕えていきたいと思います。

（福音聖書神学校 教務）

◆各地区部会報告◆

東部部会報告

総会は2024年5月20日（月）、文書送付にて行った。

1.2023年度理事会

役員理事：関野祐二（理事長）、三宅規之（会計）、野村天路（書記）

聖書神学：山崎ランサム和彦、岩上敬人、佐藤潤

歴史神学：丸山悟司

組織神学：岡村直樹

実践神学：渡辺聡

学会誌　：山崎ランサム和彦、山口希生

2. 理事会　2023年5月29日，7月14日，10月12日，12月7日，2024年3月8日(Zoomによるオンライン会議)

3. 春期講演会：2023年5月29日（月）14:00-17:00, Zoomによるオンライン研究会

テーマ：「キリストにある平和」

講演：南野浩則氏（福音聖書神学校・教務）、山崎ランサム和彦氏（聖契神学校・教務主任）

参加者：105名

4. 秋期公開研究会：2023年11月27日（月）14:00-17:00，Zoomによるオンライン研究会

テーマ：「キリストにある和解」

講師：藤原淳賀氏（青山学院大学地球社会共生学部教授、宗教主任）、長下部穣氏（ワールドビジョンジャパン信仰と開発担当、東京基督教大学、立教大学非常勤講師）

参加者：35名

5. 会員移動

入会（役職等は入会当時）

・鈴木仰氏（St.Andrews大学博士課程在学中）正会員

・山口光氏（日本同盟基督教団シオンが丘キリスト教会牧師）正会員

・神志那梓氏（日本バプテスト教会連合・国分寺バプテスト教会牧師）正会員

・柳沢美登里氏（カンバーランド長老キリスト教会・高座教会会員）正会員

・井本香織氏（聖望学園中学校・高等学校聖書科非常勤講師）準会員

会員種別変更（準会員から正会員へ）

・岡谷和作氏（ダラム大学博士課程在学中）

退会

・竿代照夫氏（正会員）

・木村幸広氏（正会員）

・山口勝政氏（正会員）

・小島聡氏（正会員）

・倉沢正則氏（正会員）

・中島伸一氏（準会員）

・津村俊夫氏（正会員）

・堀肇氏（正会員）

・尾山令仁氏（正会員）

・原田憲夫氏（正会員）

・池本善彦氏（正会員）

2024年3月現在：正会員134名，準会員12名，賛助会員11団体

6. 活動計画

ウクライナにおける戦争は終結の糸口が見えないまま、ガザにおけるイスラエルとハマスの軍事衝突が勃発し、世界はますます混迷の度合いを深めています。そのような中、東部部会では昨年のテーマの延長として年間テーマを「平和」といたしました。春の研究会では徳田信氏と稲垣久和氏を講師にお迎えして、同じく「平和」のテーマで講演をいただきます。

今年は秋に全国研究会議も開催されますが、今回は私たち東部部会の主催となります。今回のテーマは、東部部会の年間テーマと同じく「平和」といたしましたが、これを広い意味での聖書的シャロームとしてとらえ、「教会と平和」「社会と平和」「被造物と平和」という3つのサブテーマに分けて議論を深めていきたいと願っています。

7. 決算報告（三宅理事）、会計監査報告（渡辺聡理事）

2024年度予算の件（三宅理事）

8.2024年度理事会の件

役員理事：山崎ランサム和彦（理事長）、三宅規之（会計）、佐藤潤（書記）

理事：岩上敬人、岡村直樹、神志那梓、広瀬由佳（学会誌）、藤原淳賀、丸山悟司、山口希生（学会誌）

投票結果（5月31日開票）

会員に文書を送付し、総会の報告事項と審議事項の承認を求めた。下記の結果によって、総会の報告事項と審議事項は承認された。

・有効投票数64票(ハガキ18票、グーグルフォーム46票)

・山崎ランサム理事の理事長就任への承認62票

・佐藤理事の書記就任への承認64票

・総会の報告事項と審議事項への承認63票

中部部会報告

1.2023年度理事会

理事長：関昌宏（全国書記）、書記：檀原久由、

会計：池上泉

学会誌：大庭貴宣（全国学会誌）、広報：下山孝佳、

会計監査：東正明

2. 総会、理事会、研究会・講演会

活動報告

(1) 総会＆講演会 2023年7月18日（火）於CBS

講師：小岩裕一氏（日本イエス・キリスト教団 和歌山教会牧師）

テーマ：「グレーゾーン問題」の分析と対策

(2)JETSニュース及び学会誌郵送配布

3. 会員移動

入会：加藤直樹氏

4. 2024年度の理事会と活動案

◎理事会

関昌宏（理事長）、檀原久由（書記）、池上泉（会計）、大庭貴宣、東正明（会計監査）

◎活動計画

・理事会 1/30（月）於 東海聖書神学塾

・総会 5/20（月）於 東海聖書神学塾

・研究発表会（講師：加藤直樹氏）10/24（木）於 東海聖書神学塾

・理事長は全国書記として奉仕

・JETSニュース及び学会誌配布

・全国研究会議（オンライン）に参加呼びかけ

西部部会報告

1.2023年度理事会

理事長：坂井純人氏　書記：岸本大樹氏

会計：石崎伸二氏

理事：池田基宣氏、岩上祝仁氏、鎌野直人氏、瀧浦滋氏、
袴田康裕氏、正木牧人氏、南野浩則氏、吉田隆氏、
オブザーバー　豊村泰氏

2. 研究会・講演会、理事会
5月22日（月）；ハイブリッド開催
春季研究会議「宣教と教会」
会場　関西聖書学院
講演　西岡義行氏、正木牧人氏
コーディネーター　岸本大樹氏、南野浩則氏、小山健氏
11月20日（月）
秋季研究会議；ハイブリッド開催
会場　神戸ルーテル神学校
基調講演　小賀野英次氏、大西良嗣氏、
応答講演　南野浩則氏
コーディネーター　石崎伸二氏、吉田隆氏、杉貴生氏

3.2024年度の理事会
坂井純人氏（理事長）、岸本大樹氏（書記）、
鎌野直人氏（会計）、
理事：池田基宣氏、石崎伸二氏、岩上祝仁氏、瀧浦滋氏、
豊村泰氏、正木牧人氏、南野浩則氏、吉岡契典氏、
吉田隆氏

4. 主な活動
5月20日（月）；ハイブリッド開催
春季研究会議「伝える喜びと受け継ぐ喜びへ
―“宗教二世”の問題を神学する」
会場　大阪聖書学院
講演　吉岡契典氏、老松望氏
パネラー　石崎伸二氏、武田信嗣氏、
ジャン・ドゥガン氏、坂井純人氏
コーディネーター　坂井純人氏、池田基宣氏、豊村泰氏
11月　全国研究会議に参加。

5. 決算報告（石崎理事）　会計監査報告（吉田理事）

6. 会員移動
入会：朴清民（ﾊﾟｸ・ﾁｮﾝﾐﾝ）氏、味谷美代子氏、
吉岡契典氏、岩村嘉紀氏、山本翔一氏、
李貴淑（リ・タカコ）氏

学会誌報告

1.2023年度学会誌編集委員：委員長：南野浩則、
委員：山崎ランサム和彦、大庭貴宣、吉田隆、山口希生

2.2024年12月54号発行予定

◆全国理事会議事録◆

日時　2024年6月10日（月）13:00～16:03
場所　Zoomオンライン
出席者
東部部会　山崎ランサム和彦（全国理事長／東部理事長）、
山口希生（東部部会理事／学会誌編集委員）
中部部会　関昌宏（全国書記／中部部会理事長）
西部部会　坂井純人（西部理事長）、
石崎伸二（前全国会計）、
南野浩則（学会誌編集委員長）
鎌野直人（全国会計）（順不同敬称略）

開会礼拝　山崎ランサム和彦全国理事長　Ⅰコリント15:58

【審議事項】
① 2024年度全国予算案（石崎理事）を承認した。

②全国研究会議の準備に関連して
日程：11月18日（月）～20日（水）
開催方法：完全オンライン
講師：教会と平和：河野克也氏（東部・東京神学大学）
社会と平和：吉田隆氏（西部・神戸改革派神学校）
被造物と平和：Dave Bookless氏
（クリスチャン環境団体「ア・ロシャ」代表／ローザンヌ運動／世界福音同盟・被造物ケア・ネットワーク・共同リーダー）
＊登録費を徴収する。
＊リーフレットを作成する。

③学会誌関連
＊編集アプリの購入について…山口理事が出版社や知人から情報を得、予算の範囲内で導入するソフトを検討する。
＊紙媒体からデジタル化への移行について…５４号については紙媒体で出版する。バックナンバーについては検討していく。
＊編集委員の大庭氏が退任された。今後校正については外部委託も含めて編集委員会で検討していく。
＊在庫管理について…これまで神戸ルーテル神学校で保管してきたが、スペース的に限界である。PDF化してくれる「未来ブックス」に試しに依頼してみて次回に検討する。ただ会員特典としては紙媒体の学会誌があった方が良い。

④神学会ホームページの管理者（安黒務氏の後任）について…トラブルの起こりやすい窓口。引き続き情報を集めて検討していく。

⑤会員種別の見直しについて…一律に正会員で良いのでないか。準会員の種別を廃止することを各部会で審議し、これを来年の総会で決定していただく。

⑥今年秋に発行されるJETSニュースの巻頭言を南野氏に執筆していただく。

⑦会員数減少の課題について…西部、東部共に会員の高齢化が要因。その他に神学的スタンスの相違を理由に退会する方もいる。

⑧山崎ランサム氏の全国理事長は来年６月までであることを確認した。

次回の全国理事会開催日時と場所の件
2025年6月9日（月）午後1時～午後4時、
Zoomオンライン

Ⅳ．祈祷　　坂井理事

日本福音主義神学会　全国　会計

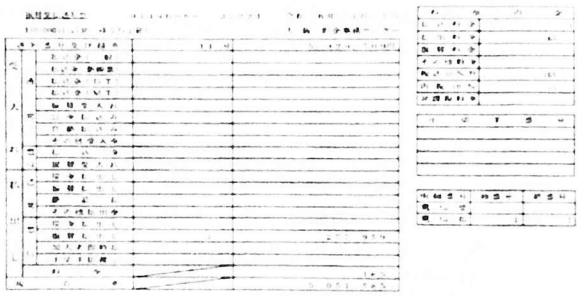
2023年度決算報告　および　2024予算

収入の部			
項　目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算
東部分担金	360,000	360,000	360,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	400,000	400,000	400,000
学会誌売上	20,000	87,480	20,000
広告収入	120,000	110,000	120,000
献　金	0	0	0
雑収入	0	0	0
基金から繰入	0	0	200,000
前年度繰越	2,936,613	2,936,613	2,936,613
合　計	3,906,613	3,964,093	4,106,613

支出の部			
項　目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算
学会誌出版費	600,000	494,619	600,000
全国理事会費	0	0	0
事務通信費	1,000	0	1,000
ニュース発行費	20,000	18,810	20,000
研究助成費	0	0	0
全国研究会議費	0	0	300,000
名簿作成費	0	0	0
基金へ繰出	0	0	0
雑費・予備費	10,000	7,500	10,000
次年度繰越	3,275,613	3,443,164	3,175,613
合　計	3,906,613	3,964,093	4,106,613

※学会誌出版費用の別会計は閉じて、今後は本会計からの支出となる。
※2023年度予算から繰越金を「雑費・予備費」としてではなく、「次年度繰越」とした。

総　計		現在額	
項　目	金　額	項　目	金　額
出版基金	1,208,421	郵便振替	5,051,585
全国研究会議基金	400,000	現　金	0
次年度繰越	3,443,164		
合　計	5,051,585	合　計	5,051,585



以上、決算を報告し、予算を提案いたします。
2024年4月1日
日本福音主義神学会全国会計　石崎伸二

2023年会計監査の結果、適正に処理されていることを認めます。
2024年6月7日
日本福音主義神学会全国会計監査　坂井純人

日本福音主義神学会の活動のさらなる発展のために、献金をお願いいたします。
郵便振替口座 01140-6-32221「日本福音主義神学会」

日本福音主義神学会ニュース
2024年10月1日発行

発　行　日本福音主義神学会
編　集　関　昌宏
印　刷　（株）プレイズ